

# 北信地域障がい福祉自立支援協議会 議事録

部会名 令和7年度第2回サービス向上部会

開催日時 令和7年7月11日(金)10:00~11:30

## 参加者所属機関名等

北信保健福祉事務所福祉課、中野市社協指定訪問介護事業所、飯山市社協ヘルパーステーションゆきつばき、山ノ内町社協指定訪問介護事業所、木島平村社協指定訪問介護事業所、野沢温泉村社協指定訪問介護事業所、栄村社協指定訪問介護事業所、北信圏域障害者生活支援センター、相談支援事業所たむろ、訪問介護たむろ、未来工房つむぎ、青りんご、いこいの里、ケアホーム希望、のぞみの郷高社、NPO法人ここから、常岩の里ながみね、傳習館、一般社団法人きぼう、中野市障がい児者相談支援事業所ふたば、むぎとはな、ながでんハートネット中野ポルカ、ながでんハートネットメゾふおるて、ひふみ中野たかおか教室、ひふみ信州中野教室、ながでんハートネットカラー's中野、北信圏域障害者生活支援センター、児童発達支援センターみらいく、北信圏域障害者総合相談支援センター

## 会議で話し合われた事項

### 1. 開会

### 2. 議題

#### (1) 他部会の活動状況共有

- 権利擁護部会
  - 「虐待防止・予防」に関する地域研修会を開催予定。
  - 昨年度同様、事業所向けアンケートを実施予定。

#### (2) 令和7年度第1回協議会（総会）の報告（黒田部会長）

- 委員承認：(株)ネクサス（グループホーム傳習館）が新規委員に承認。本部会・WGに参画予定。
- その他承認：協議会長・部会長選出と承認。各部会活動が正式に始動。
- 障害福祉計画：第7期計画2年目。各部会の取組は計画進捗に直結するため、協議会開催ごとに報告を行う。

#### (3) 今年度の研修会について（黒田部会長）

- 昨年度アンケートより「現場に即した内容」「明日から活かせる研修」を求める声多数。
- 対象：入職1~3年目の若手職員。
- 内容案：
  - 先輩職員の体験談（動機・失敗・やりがい）共有。
  - グループワークで悩みや思いを語る。
  - 年齢層を考慮したグループ編成で話しやすい雰囲気重視。
- 目的：若手の声を管理者・事業所が受け止め、環境改善・離職防止・定着促進へつなげる。
- 今後：来年度以降は管理職対象研修も検討。
- 予定：運営委員会で最終確認後、10~11月頃に実施予定。

#### (4) 各 WG・NW の検討

##### 居宅介護分野 WG

- **アセスメント票作成**：中野市社協様式を参考に意見交換。
- **追加要望**：
  - 本人の「できる／できない」を丁寧に捉える項目。
  - 「精神・行動・認知」分野の項目。
  - 関係機関・事業所の情報記載欄。
- **削除検討**：病院情報の簡略化または削除。
- **制度課題**：
  - 相談支援専門員の情報更新頻度が低いケースあり（年単位）。
  - 事業所計画（半年更新）と連動性がなく、現場での支障となっている。

##### 生活支援力向上 WG

- 介護保険制度での取り組み事例として、介護保険サービス事業を展開している半藤委員より発表があり、各事業所の取り組みを共有した。
- 障害分野では介護保険に比べて求められる内容が多く、会議の在り方について各事業所が悩んでいる現状が確認された。ある事業所では、地域住民を巻き込んだ防災訓練と併せて開催している事例も紹介された。
- 委員の選定に関しては、行政、社会福祉協議会、民生児童委員、家族に加え、相談支援専門員の参画も有効ではないかとの意見があった。
- また、取り組みを広く周知するため、会議終了後には議事録を広報誌や HP 等に掲載するなどの発信も求められており、自立支援協議会の HP への掲載も提案された。
- 今後、各事業所で実施が進む中で北信保健福祉事務所の担当者が参加している本 WG 内で経過を共有・確認していくこととした。

##### 児童発達支援ネットワーク

- **事業所一覧**：営業時間・サービス提供時間を引き続き記載。また、各事業所の情報が掲載されているホームページの情報を QR コードにして添付する。完成後は行政・相談員（基幹相談センター含む）に配布し活用していただく（8月から開所予定の就労準備多機能型児童通所支援事業所はんどの情報も追加する予定）。
- **送迎**：
  - 一部事業所で送迎困難の報告。法人内連携や保護者説明で対応例あり。
  - 「送迎加算」活用や地域単位での送迎バス整備案も提示。
- **連絡ノート**：
  - 複数事業所併用児童で負担大。
  - 圏域で内容・形式の統一や簡略化を検討する必要性が共有された。

### 3. 閉会